

Tavira [Tavira] - アクセシブルプラン

について



Tavira [Tavira] - アクセシブルプラン

ジローン川[Rio Gilão]の両岸にまたがり、狭く入り組んだ通りと白い家々が並ぶタビラはアルガルヴェ[Algarve]の中でも最も絵になる町の一つです。少し時間をかけてでもこの町を知る甲斐があります。

ただ実際に訪れるとなると、行動能力に障害がある方には少し難しいので注意が必要です。特に地形が平らでなく、通りが狭く曲がりくねっている城周辺のエリアは特に困難です。

[地図を見ながらお勧めルート歩く](#)

このルートでは完全にアクセシブルなレパブリカ広場[Praça da República] (8)から始めるのがお勧めです。カフェやテラスで現地の美味しい食事を楽しんだり、夏にはショーや祝祭を見物できます。レパブリカ広場はジローン川の横にあり、ローマを起源とする最古のポンテ(橋)[Ponte] (11)にアクセスできるようになっています。この橋は向こう岸と繋がっており、障害物もありません。またここでは寄棟屋根や格子造りの扉など、同地域に伝わる伝統的な農業の特色をうかがい知ることができます。



Tavira © Shutterstock| Anyaivanova

レパブリカ広場の横には、この街の最も活気ある場所の一つである**コレト庭園**[Jardim do Coreto]

(9)が

あります

。この庭園は平坦

でアクセシブルとなっており、川沿いを散策するととても気持ちいいのでお勧めです。近くには**リベイラ市場**[Mercado da Ribeira] (10)もあります。バリアフリーの広い空間で、本来の目的とはかけ離れていますが、今では宿泊所やカフェ、レストランやテラスが軒を連ねます。



Tavira © Shutterstock | Sergio Stakhnyk

ジローン川と平行に走る道はリア・[フォルモザ\[Ria Formosa\]](#)

へと続きますが、ここはプラン外なのでまたの日に残しておきましょう。このルート沿いでは白い塩田からなる美しい景観を楽しんだり、塩の抽出作業を見たり、この地を求めて飛んでくる水鳥を鑑賞できます。最後は、ボートがリア・フォルモザ自然公園[Parque Natural da Ria Formosa]を渡って、海との境界線となっている11

kmもの砂地に向かって漕ぎ出していく、クアトロ・アグアス[Quatro Águas]です。ここにプライア・ド・[バリル\[Praia do Barril\]](#)

などのタビラ島のビーチがあります。これらのビーチでは自然の平静さと海水浴を楽しむことができ、水陸両用の車椅子も用意されています。



Praia do Barril Tavira © Shutterstock | Sergio Stakhnyk

ルートをさらに進んで、市庁舎前のレパブリカ広場にある**イスラムセンター**[Núcleo Museológico Islâmico] (Islamic Museum Centre) (6)を訪れてみてください。ユニークな陶器のタビラの花瓶など、アラブ発祥の展示物の数々見ることができます。ルートは歴史地区の凹凸のある急な斜面の通りへと続きます。ですので、他の誰かと一緒にまわるか、レパブリカ広場発の観光列車の利用をお勧めします。



Tavira © Shutterstock | Evgeni Fabisuk

タビラはたくさんの教会があることで知られています(全37箇所)。なかでも特筆すべきは[ミセリコルディア教会](#)[Igreja da

[Misericórdia\]](#)

(5)です。アルガルベ地域では珍しい、ルネッサンスならではの特徴が表玄関にはっきりと表れています。入口はガレリア通り[Rua da Galeria]にあり少し段差がありますが、中は広くバリアフリーになっています。円柱を彩る金箔の彫刻や18世紀の壁タイルなどのルネッサンス期の装飾は—

見の価値があります。同じ通りにはこの街を象徴する普通建築があります。その代表は[タビラ市立博物館\[Museu Municipal de Tavira\]](#)

(4)のメインセンターが位置するパラシオ・ダ・ガレリア[Palácio da Galeria]です。建物の入口にはプラットフォームリフトがあり、上の階に

も上がれるように

なっています。地域に関するテーマの展示物をご覧ください。この通りの終わりには綺麗なノートルダム教会[Ermida de Nossa Senhora da Piedade] (7)が建っています。建物は小さいですが中は広くバリアフリーです。



Tavira © ARPT Algarve

お次は[タビラ城\[Castelo de Tavira\]](#) (3)です。この通りは斜面が急で舗道も凹凸があるので助けがないと難しいでしょう。中は広く、少し障害物があります。特にビューポイントに向かう階段には手すりが付いていないのでご注意ください。近くにはタビラの主要な寺院で、13世紀に古いモスク跡に建てられた[サンタ・マリア・ド・カステロ教会\[Igreja de Santa Maria do Castelo\]](#) (2)があります。ゴシック様式のランセットアーチの表玄関から入りますが、少し段差があります。十分に広い内部には、街をモスリムから救ったサンティアゴ騎士団の7人の騎士の墓が保管されています。同時代の[サンティアゴ教会\[Igreja de Santiago\]](#)

(1)は、より小さなモスクの上に建てられたと考えられています。ここは空間が狭く、所々に障害物があるのでご注意ください。



Castelo - Tavira © Arquivo Turismo de Portugal

お勧めのプランはここで終了ですが、タビラには他にも興味深いスポットがいくつかあります。より詳しく知りたい方は観光案内所[Posto de Turismo]までお越しください。行動能力障害のある観光客のサポート、ルートに沿って利用可能な音声ガイドをご提供します。

お役立ち情報

交通機関

バス

バス会社のSobe e Desce, Transportes Urbanos de Tavira [Sobe e Desce, Transportes Urbanos de Tavira]は運動能力に制限のある障害者用の優先座席、乗車用のプラットフォーム、車椅子利用者に対応した広い空間の車両を完備しています。

ただし、停車通知ボタンには点字がついておらず、音声による停車駅のお知らせ機能はありません。

屋根付きのバス停にはさまざまな路線の時刻表および運賃情報が載っています。

Company Sobe e Desce - TUT - <http://mapas.cm-tavira.pt>

鉄道

歴史地区から歩いて10分ほどの所に鉄道駅があり、タクシーで行くことができます。駅の入口はアクセシブルで中は広く、運動能力に制限のある障害者用のチケットカウンターが設置されています。

車両は、体に障がいのある方に十分配慮された広さがあります。プラットフォームからも乗車しやすく、車内空間は広々として、移動中も可聴化・可視化された通知で各停車駅を確認することができます。

ポルトガル鉄道[CP-Comboios de Portugal]は、SIM = 統合モビリティサービス[SIM - Serviço Integrado de Mobilidade] (インテグレートド・モビリティ・サービス)に関する情報を、年中無休・24時間、電話(+351) 707 210 746 (707 210 SIM)で提供しています。障がいのある方はこのサービスで、電車や駅のアクセシビリティ、乗車時・乗車中・降車時のサポート、その他の情報を確認できます。

詳細はこちら: www.cp.pt

観光列車

Delgaturisはタビラの主要観光スポットを結ぶ観光列車を運行する会社です。タビラ城周辺の傾斜のある通りや舗道がない場所の移動に最も快適な移動手段となっています。是非利用をご検討ください。観光列車にはプラットフォームリフトとアクセスランプが完備されています。

Delgaturis [Delgaturis] - www.delgaturis.com

タクシー

タビラのタクシー会社の車両にはまだ運動能力に制限のある障害者対応の車両が完備されていません。ただし、会社によっては輸送時の問題を解決したことがあり、対応車両こそありませんが運動能力に制限のある障害者向けのサービスを提供した経験もあります。

Táxi Tavira - www.taxitavira.net

観光案内所

タビラの観光案内所には運動能力障害者をサポートするチームが設けられています。旅の途中で利用できる音声ガイドも提供しています(ポルトガル語、英語、フランス語、スペイン語のみ)。関連ファイルはwww.cm-tavira.pt からダウンロード可能です。

観光案内所の入口は平坦なのですべての方にアクセス可能です。内部の空間も広く、障害物もありません。受付カウンターは低くなっていませんが、建物内のほかの場所でサービスを受けることができます。

住所: レバプリカ広場、5 - 8800-951 タビラ; 電話:+351 281 322 511